

# KOCHI ROTARY CLUB

2020  
2021

SINCE 1937



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度 RIテーマ

## 週報



Weekly report 第3436回

2020年 8 月 18日 2020年 8 月 25日発行

### ● 会長挨拶



皆さん、こんにちは。残暑お見舞い申し上げます。記録的な猛暑が続いておりますが皆さま元気でお過ごしでしょうか？

本来ですと、今年はオリンピックとよきこいで日本中、あるいは高知が最大限に盛り上がるはずだったのですが、コロナ禍により予想もしない静かな夏になってしまいました。

ロータリーにおいても夏は国際奉仕・国際交流本番の季節です。長期交換では派遣学生が、新しい学校やホストファミリーに囲まれて新生活をスタートし、こちらでは受入学生を迎える準備で関係の方々は大変忙しい時期です。また、短期交換では四国中から集まった生徒たちがアメリカ・ニュージャージーで現地の方々と大いに交流をしているころでもあります。コロナ問題でどちらも中止になってしまい本当に残念です。

先日届いた「ガバナー月信」で、篠原ガバナーは地区やクラブ運営について大変気を遣っておられます。ガバナーの各クラブへの公式訪問について、クラブが希望すればオンラインでも構わないとのお問い合わせもありました。ガバナーは「いずれにしても、本年度は今後も年間を通じて想定外の活動を余儀なくされると考えており、可能な限り各委員会活動を粛々と実施してもらいたい」と我々に求めておられます。

当クラブでも例会の席の配置を含め、大変制約を受けた窮屈な運営が続いておりますが、各委員長さんを中心に、少しずつできることをやっていただきたいと願っているところです。感染拡大には最大限の注意を払いつつ、明るく元気に未曾有の1年を乗り切って行きましょう。

本日の卓話はゲストスピーチで、ファーム・ベジコの長崎雅代さんによる「繋がる、広がる、ベジタブルコミュニケーション」です。食と農に関する興味深いお話を後ほど伺います。どうかよろしく願いいたします。



### ■本日のプログラム [ 8 月 25 日 ]

ゲストスピーチ

北川村 副村長 鈴木 康正 氏  
「世界に2つしかないモネの庭」

会	長	中	村	裕	司
副	会	入	交	章	二
幹	事	関		雅	文
副	幹	中	澤	清	一
会	報	隅	田	和	稔
責	任				

● **ロータリーソング**「我らの生業」



● **尾木謙三会員に在籍50年記念の表彰状をお渡ししました**

今日はどうもありがとうございます。私は今92歳ですから、50年前42歳のときに入会しました。あるとき、入交太二郎さんと武市雄次郎さんの2人に話があるからと喫茶店に呼ばれました。2人とは大学が一緒でしたので、つきり大学の行事の相談だと思って出かけたのですが、ロータリーに入らないかという話でした。私たちは戦中派で、見たくない光景を嫌になるほど見せられた世代です。戦後は何とかお役に立つことをすればいいこともあるのではないかという思いで、お受けしました。



ただ、そのとき2人から受けたレクチャーで、今でも耳に残っていることが二つあります。一つは出席です。お前は土地の者だから出席は間違いないだろうといわれました。もう一つ、これは、今ではロータリー自身も随分と変わってきましたが、当時は、審査が非常に難しいから、もし入会の許可が来なかったらこの話はなかったものと思ってくれと言われたことです。

以来、50年間、いろいろな役職等も経験し、勉強もさせてもらいました。また、50年間クラブを見てきて、本当にフラットで民主的ないい雰囲気のクラブになったと感じます。

不適切な言葉もあったかと思いますが、お許しを願って、これでお礼のご挨拶といたします。どうもありがとうございます。

● **ゲストスピーチ**

**繋がる、広がる、  
ベジタブルコミュニケーション**

ファーム・ベジコ 代表 長崎 雅代 氏

私は、現在、家族とパートさん2人で24アールのハウスと、お米を1町3反で作っています。

私は昭和37年生まれの58歳。土佐女子高校を卒業後、JTB高知支店に入社、14年間お世話になりました。社内結婚して出産とともに退職、1年間専業主婦を経験した後、リクルートの旅行雑誌「じゃらん」の現地スタッフとして、在宅で営業、企画、制作を担当。同時に龍馬学園のホテル観光科で非常勤講師として5年勤めました。



その後、主人が旅行会社を辞めて、私の叔母が嫁いでいた春野町の農家をやりたいと手を挙げました。私も軽い気持ちで、やればと反対もせず農業に転職したのが40歳でした。初めての農業ですので鋤の使い方も分からないし、アスパラやレタスは高知ではできないだろうぐらゐの知識しかなかったことから、まずは知識を得ようとハーブコーディネーター、野菜ソムリエの資格を取得。

最初はキュウリだけを収穫していました。ハウス栽培のキュウリは10月に定植、11月から6月ぐらいまで収穫します。高知の施設園芸はナスもトマトもピーマンも、旬とは逆の冬場に作っている物が多くありますが、

季節の変わり目など、1年中いろんな物ができないのではないかと思います。飲食店のシェフに欲しい物やおいしい物を聞きながら、おいしいとか来年も欲しいと言われた物を増やしていき、今は年間40から50種類のハーブや野菜を作っています。それを飲食店に直接持って行ったり、東京に送ったりしていますが、それだけでは単調な毎日で、もう少し野菜を通じてできるのではないかと思います。現在ではイベントやマルシェ、食育、グルメの本の作成などを行っています。また、龍馬学園の調理経営課で食の授業を担当し、高知の食材の素晴らしさを分かってもらい、高知から世界に通用する料理人が巣立ってほしいということで活動もしています。

(DVD上映)

- ・農業地は春野町内ノ谷、地下水が豊富な場所で昔からキュウリ農家の多い土地です。
- ・葉物は、今は植えても溶けてしまいます。
- ・永田農法の永田先生に指導してもらっています。
- ・高知はおいしい物があるということで、グルメの取材が増えていきます。栗原はるみさんはスミカンに興味を持ち雑誌にも載せてもらいました。
- ・NHKワールドという世界中に配信している番組で、土佐のスミカン文化が取り上げられました。
- ・バジルは露地とハウスの両方で作り、1年中出荷できます。



- ・松崎淳子先生の「土佐寿司の本」も、土佐学協会の仲間と一緒に出版しました。
- ・子どもたちに食べる喜び、生産、収穫の体験をしてもらいました。
- ・いろいろな食のイベントに野菜を提供したり、参加しています。

私自身、農業を始める前は家と会社の往復だけで、川や山などに目を向けることはなかったのですが、春野で土に触れたり、水を引くなどの仕事を始めて、昔の人が努力して整備してきたものが、今もずっと受け継がれて高知の園芸王国の基礎になっていることをひしひしと感じます。住宅地や商業施設も大事ですが、田畑を一度放棄してしまうと、次というのはなかなか難しいため、できるだけ次の世代に引き継いでいくことが大切です。高知は日照時間をはじめ気候風土が野菜づくりに適しており、こんなに種類が豊富でおいしい野菜が採れることは、全国的にも非常に恵まれた土地だと思います。田んぼも、単にお米を作るだけでなく、藁やすり糠、米糠をもう一度畑や田んぼに入れて循環させることで、またおいしい作物ができる元となります。今は、いろんな物が海外から入ってきますが、これからは地産地消、地産地食が大切で、地の物を地で食べることは身体にも一番よいのではないかと思います。私自身、自分で作った物を自分で食べるようになって、食べる物を作ることの重要さを感じるようになり、それを子どもたちやその下の世代にも伝えていきたいと思っています。

私が所属している土佐学協会で、年1回開かれる土佐学大会に、グルメ雑誌「dancyu」の植野編集長をお呼びして、高知を世界屈指の美食の街であるスペインのサン・セバスチャンのようにするにはどうすればいいか講

演をしていただきました。そこで、植野さんから、日本のあちこちがサン・セバスチャンを目指しているけれど、高知は何もしない方がいい。都会の流行に振り回されずに、今のまま、自然のまま、ある物を大事にしていけばいいと言われました。豊かな素材である郷土野菜、それを使った伝承料理を大事にして、これからの新しい食べ方を考えていけば、もっともっと高知のおいしい物を伝える手段があるのではないかと思います。高知県は、西から東まで、海・山・川があり、自然に恵まれていて食べ物も豊富にあるため、食べることに困るといった感覚はないと思いますが、できるだけ地の野菜を多く摂り、免疫力を高めて、ウイルスに負けない身体づくりを心がけていただけたらと思います。

今年は、長雨の後に日照りが続き、たくさんの未熟米が出ました。今の時代、豪雨や台風、今年はさらにコロナと、さまざまな災害があります。確かな情報をキャッチしながら、前もって対処の仕方を考えておくことも必要です。そして、これからも小回りのきく、個人や小さな店の要望に応えることができる農家スタイルで、取り組んでいきたいと思っています。



◇ 例 会 変 更 ◇

高知東RC	8月26日	時間変更例会(阪)	高知南RC	8月27日	夜間例会(阪)
高知中央RC	8月27日	夜間例会(城)	高知RC	9月1日	ロータリー休日(三)
高知北RC	9月7日	時間変更例会(三)	高知ロイヤルRC	9月8日	月見夜間例会(旭)
高知南RC	9月10日	月見例会(阪)	高知北RC	9月14日	月見夜間例会(三)
高知東RC	9月16日	ロータリー休日(阪)	高知西RC	9月18日	創立記念夜間例会(三)
高知中央RC	9月24日	月見夜間例会(城)			

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

 **ニコニコ箱**

- 高村 禎二 } 尾木さん、ロータリー在籍50年おめでとうございます。本当でしたら、私たちの会長、幹事の年度のとき  
高橋 明子 } にお祝いしなければいけなかったのですが、大チョンボでお祝いが今日になってしまったことをお詫び  
いたします。これからも尾木さんには元気で活躍いただき、在籍60年のときにはちゃんとお祝いさせて  
いただければと思います。
- 中澤 陽一 新年度に入って一度もニコニコしてませんので、危険な暑さが早く終わるように願ってニコニコします。  
林 広行 高知RCに入会させていただき1ヵ月が経ちました。皆さまの優しさ、温かさに感謝です。  
武樋 泰臣 月初に誕生日をお祝いしていただきありがとうございます。今日で59歳になりました。  
佐竹 新市 誕生日わずか1日違いの長崎さん、本日は講話ありがとうございました。  
ファーム・ベジコの野菜は一段と免疫力が付くそうです。まだまだ続くコロ  
ナ禍、野菜をたくさん食べて乗り切りましょう。
- 南 範子 夫の誕生日に素敵な観葉植物を届けていただきありがとうございます。リビングに飾り、私の方が毎日楽しませてもらっています。
- 田岡 弘久 妻の誕生日に素敵な花を贈っていただきありがとうございます。



◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイキャップ	出席率
8月18日	(-11)86	54	15	6	80%
8月4日	(-11)86	54	9	12	88%

● 累計額 [8月18日現在]

ニコニコ箱	159,000円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	44,157円	ポリオ募金	0円
-------	----------	--------------------------------	---------	-------	----

■ 次週のプログラム [9月1日]

ロータリー休日

◆ 9月8日のプログラム 会員スピーチ  
 (株)ヒワサキ 代表取締役社長  
 日和崎 守 会員  
 「私の自己紹介」

創 立 昭和12年10月  
 例 会 日 火曜日 12:30~13:30  
 例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131  
 事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館6階  
 TEL(824)8660 FAX(824)2529  
 E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp  
 HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>